

けんけんほっとライン

せいぎかい

発行 2007年3月



山川百合子は4年間、堅実に、そして大胆に 県政改革に取り組んで来ました

 生まれた家の**貧富**によって
生涯が決まっていたいの!?

教育格差の拡大は 機会の平等を奪う

今、都市部では公立離れが進んでいると言われています。余裕のある家庭の子女は塾や予備校に通い、親の所得格差がそのまま生涯の格差になろうとしています。山川百合子は公教育を再生し、地域が一体となって教育に取り組む体制をめざしています。

定時制統廃合で 子どもたちの学ぶ機会が 奪われることはないか

山川百合子は県立定時制高校統廃合に伴い、たたかいました。不登校などの理由で学習到達度の低い生徒が再チャレンジする機会が失われるのではないかと、あるいは働きながら通うのが難しくなるのではないかと、教育長らにただしました。教育格差を少なくするためには、効率や競争という考えだけではなく、様々な立場の人たちが等しい機会を得られるような仕組みが必要です。

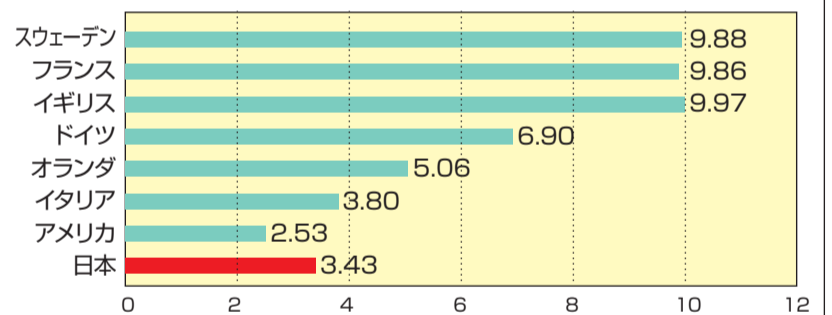


さいたまの
くらしを
みらいにつなぐ
最前線

しっかりと
じっくり
誠実に

埼玉県議会議員 山川百合子 (37歳)

OECD基準による社会支出のうち家庭分野への支出割合の国際比較



出所：OECD*Special Expenditure Database 2004*

子育て、医療、福祉、環境 でがんばる

障がい者施策を前進させる

高齢者、障がい者がハンデにならない社会を創ることは政治の大きな使命です。障がい者については、山川百合子は県議会でも、たびたび「ノーマライゼーション」という言葉を使い、教育の場でも就労の際にも健常者と同様な権利を持って生活ができるよう主張し、就労支援センター、訓練センターの設置やグループホーム、小規模作業場の増設に大きく貢献しました。

県に子育て担当局を新設させる

山川百合子は再三、男女共同参画の理念に基づいて、子育て支援策の充実を具体的に提案して来ました。その結果、県は来年度から子育て担当の局を設置し、学童保育の充実などを約束しています。また、病時・病後時保育の予算化、小児救急や産科という医師不足の問題への支援など多くの成果を得ました。特に、草加市立病院における産科医の確保に向かって山川百合子は努力を続けています。

大気汚染や地球温暖化を 防止・河川の浄化

首都圏の都県は、国に先んじて黒煙のもとになる物質の規制をしてきました。しかし、実効性となると疑問がでてきます。山川百合子は県に対し、黒煙の測定方法などの疑問点を県にぶつけ、当局に緊張を与えました。いくら条例があっても、しっかりした取締りにつながらなければ意味がありません。温暖化防止のために、身近なところからCO₂の排出を減らす努力も続けています。また、アスベスト対策や産業廃棄物の問題も前進させ、草加の問題として古綾瀬川の汚染問題に取り組んでいます。





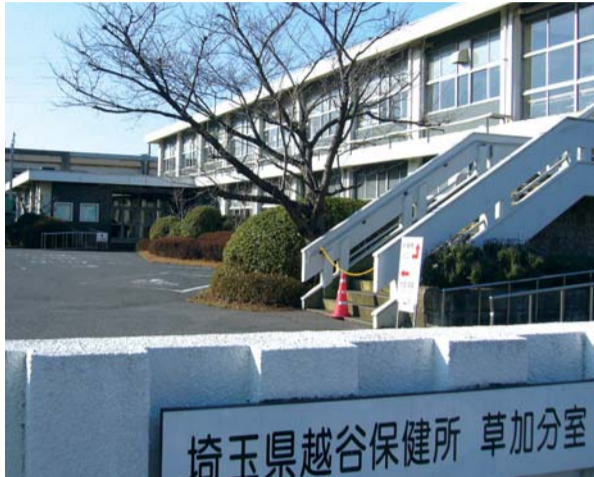
行政や議員の心を

許さない!!

草加の保健所は有効に活用されているか

元草加保健所（現在は越谷保健所草加分室）は3300平方メートルの広い敷地に4人しか職員がいません。もともとは市が無償提供した公共用地ですが、有効に活用されていないのが現状です。

新年号でご報告した山川百合子の取組みの結果、施設を利用できる団体が大幅に増えた事は一歩前進です。さらに取り組んで参ります。ほかにも、企業局の温泉経営破たんの問題など、行政のムダの問題を追及しています。



議員は税金で賄っている政務調査費の用途を公開すべき

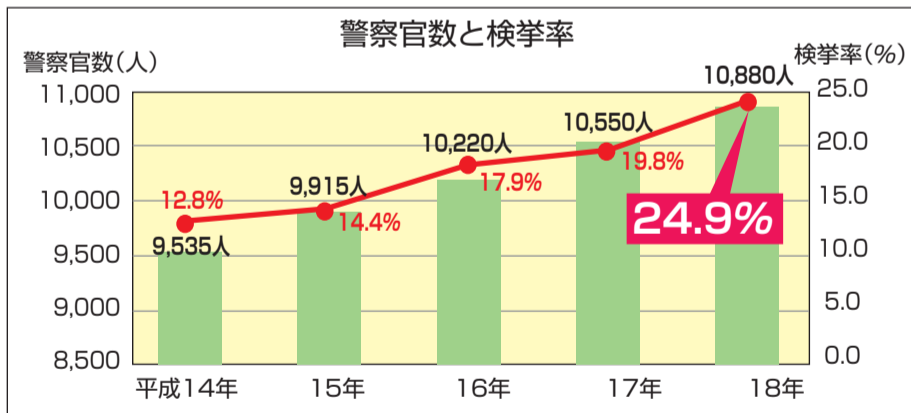
埼玉県議には歳費とは別に毎月50万円の政務調査費が支給されています。しかし、この用途明細はまったく公開されていません。国会でも政治資金管理団体の経理が問題になっていますが、政務調査費は税金からの支出ですからそれ以上に大きな問題です。山川百合子は他の民主党議員と共に、まず、報告するためのルールを明確にし、完全に透明化をはかることを提案していますが、なかなか他の大きな会派の賛同が得られないのが現実です。さらにこの問題を追求していきます。



安心・安全は行政と市民の協働で

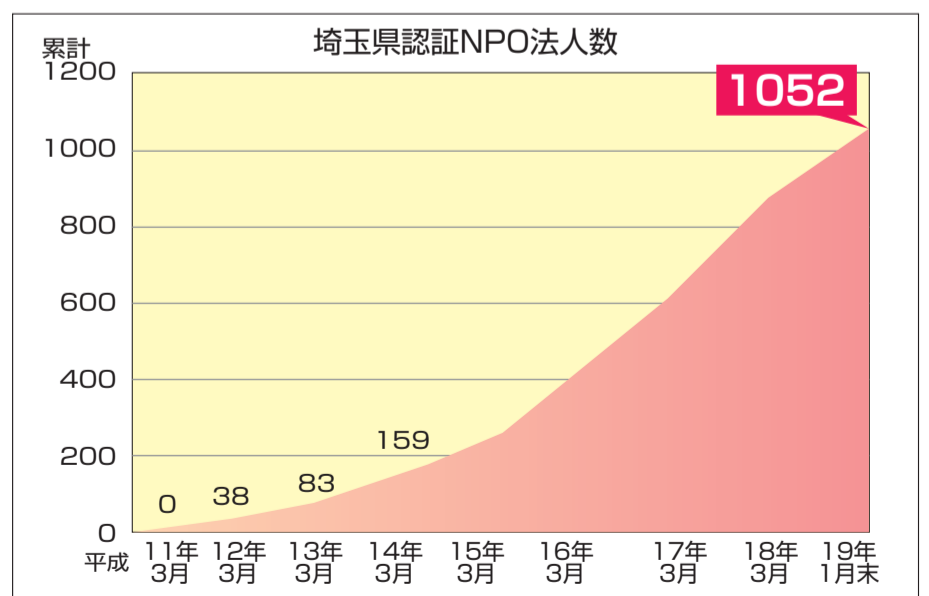
検挙率の向上は県民の安全度を向上させた

草加駅周辺の風紀や治安の問題など、安全の確保は最大の政治課題です。山川百合子はとりわけ県南東部に対し警察官の増員を強く求め、実現させてきました。ボランティアの活用など市民の協力による地域防犯の努力も成果を発揮し、現在、埼玉県の検挙率は大きく向上しました。今後も安全の確保に向けがんばってまいります。



NPOなど市民活動をもっとやすく

山川百合子は、民間の国際協力団体で活動してきた経歴を生かし、NPOなど市民活動を大きく広げることが共生の社会づくりに役立っていくことを主張しています。議会でも「1%支援制度」（個人の住民税の1%を納税者が選択する市民活動団体支援に交付する制度）の導入などを提案しています。また、現在県が行っているNPO基金は、個人や企業が寄附する場合、特定の団体を希望することはできませんでしたが、山川百合子の提言で希望ができるようになりました。



命と生活を守る本気の防災対策・体制の強化

災害は市民の生活全体をおびやかします。高齢者や障がい者等、要援護者支援準備の徹底と帰宅困難者支援策の策定、災害ボランティア・民間支援のコーディネート体制の整備など「いざ」という時の命と生活を守り、機能する具体的施策を山川百合子は提案してきました。



ご意見・ご要望をお寄せ下さい
メールや電話、ファックスにて、お気軽にご連絡下さい。

埼玉県議会議員 山川百合子事務所（民主党会派草加事務所）
〒340-0012 埼玉県草加市神明1-2-31 Tel: 048-927-0131 Fax: 048-927-0353
http://yamakawa-yuriko.jp E-mail: info@yamakawa-yuriko.jp